

トムトム通信



目次

2002 明けまして
おめでとう
ございます。

2002年新年ご挨拶	1
「親の会」発見しました	3
シニア・イルミネーション	5
実況生中継 / パザール報告	7

「トムトムだから、できること」

NP0法人 パーソナルサービスセンタートムトム
理事長 上杉 桂子

新しい一年がまた始まりました。昨年は暗いニュースが多かったようですが、今年はどんな出来事が待ち受けているのでしょうか。NP0法人となって一年、振り返ってみるとほんの僅かながら、トムトムも地域の中で確かな存在として育ってきたのを感じます。登録会員数も徐々に増え、新しい職員やワゴン車が活躍し、マスコミから取り上げられて時折小さな記事にもなりました。年末には、かながわボランティア活動推進基金21・奨励賞5団体の内のひとつに県下から選ばれ、岡崎知事から直接励ましの言葉もいただくことができました。「トムトム」と言えば、「ああ、知ってる。」と言って下さる方が地域で着実に増えてきたことも、本当に大きな喜びです。

反面、医療的ケアの問題を初めとする多岐にわたるご利用のニーズに、どのように、そしてどこまで応えていけるのか、トムトム側の対応の質と量とが厳しく問われる時期にさしかかっているのも事実です。お一人での行動が困難な方であればあるほど、トムトムのような「なんでも屋」的なサービスの必要性は高いのですが、果たして今のトムトムが、その役目を完璧に担えるのかとなると、現実には徐々に限界を感じつつあります。「地域での支援」は、決して単独のサービスでは成り立ちません。それがわかっているからこそ、枠のない利用者本意のサービスを展開してきたわけですが、ここにきて、そうした質と量の限界に、どう立ち向かっていけばいいのかわからず、立ち往生の状態が続いています。今、手探りの連携を、医療や教育現場、あるいは地域の相談窓口と取り合って、何とか突破口を見つけたいと思っています。

(次ページに続く)



今年はこんな心意気でいきたいもので

また、経営的にもあいかわらず厳しい状況のトムトムですが、昨年、年明けに「トムトムに、学童助成相当分の補助金を」という主旨の賛同書署名を募ったところ、約900名の方からご賛同をいただき、とりまとめて茅ヶ崎市議会議員にお渡しすることができました。その流れから議員内で、障害児者に対する意識が高まり、昨年12月14日に、市内各親の会会員や茅ヶ崎養護学校PTA会長が参加して、議員対象の合同勉強会が開催されました。トムトム職員もオブザーバーとして参加しましたが、党派を越えて、こうした勉強会が開かれたのは、初めてだという事で、16日付の神奈川新聞にも掲載されました。今後この勉強会を契機に、助成金獲得に向けて一層の努力をしていきたいと思っています。ご協力くださった多くの方に、この紙面を借りて、心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。そして、昨年好評を博した、トムトム親父の会（随時会員募集！）主催のジョン・チャヌ氏チャリティーコンサート、また、会員のお母様方中心に結成されたトムトム親の会の行政交渉など、物心両面からの暖かい支援活動が、トムトムの「元気」を昨年一年も、支えて下さいました。ありがとうございました。

来年からいよいよ、社会福祉基礎構造改革が始まります。それに伴う支援費制度への移行まで、あとわずかです。この大きな時代のうねりに、内外の多くの課題を抱えながら、トムトムも巻き込まれていくわけですが、大切なのは、時代に生き残ることと同時に、ひとりひとりの利用者の方にとっての、トムトムの「使いやすさ」を維持していくことではないかと思えます。そのためには、サービスの中身が、常に明確でしかも柔軟であることが求められていくでしょう。今年も、「トムトムだから、できること」を模索しつつ、頑張っていきたいと思えます。（上杉）

2件の助成が決定しました

いつも苦しいトムトムの経営状況ですが、久々の明るいニュースです。下記2件の助成が決定しました。これによって一層のサービス内容向上をはかると共に、トムトムの必要性をひろく知ってもらうための努力（＝各種助成への応募）をこれからも続けます。

①H13年度かながわボランティア活動推進基金21・ボランティア活動奨励賞

神奈川県が新しく設置した助成です。「行政として取り組むことが困難な公益活動で（←これとはちがいますが）、他のモデルとなるようなボランティア活動を行っている団体」ということで賞金80万円と共に受賞しました。

理事長の上杉が副賞加筆より表彰状を手配されました。
(01年12月19日、神奈川県庁にて①授賞式)

②2001年度 日本財団・福祉車輦助成

使い勝手の良いスズキのワゴンR（車いす対応）が2月頃、トムトムに登場します。日本財団仕様の目を引くデザイン、購入費用の90%の助成を受けました。

どんな活動しているの??これからはどう動いていくの??寒川代表の伊藤さんから報告してもらいましょう!!



昨年の6月に澤田さんからの声かけにより、38家族の賛同を得て親の会が発足しました。

●9月10日(月)

トム2にて話し合い。この日が初めての話し合いでした。会費や今後の活動方針についての話し合いとなりました。

●10月17日(月)

有志6名にて茅ヶ崎市役所障害福祉課を訪問。トムトムを利用している理由や、助成について話しました。しかし、市としては助成をするのは難しいとの事。

そこで親の会として、近隣の自治体の障害児・者を支援する事業・状況を調べ再度掛け合うことになりました。

●11月27日(火)

トム2にて2度目の話し合い。会の立ち上げから、これまで支えてくださった澤田さんがご家庭の都合により脱会されることになり、後任として牧野浩子さんをお願いすることになりました。今後の会の運営についてや、地域ごとの世話人をきめました。

(茅:金 寒:伊藤 平:半澤)地域の世話人が、会全体の副代表・会計・書記(広報)を担う。そして、自治体に対してアンケートを実施し、助成してもらう為の資料として情報を集める。

●12月12日(水)

トム2にて、アンケート内容についての話し合い。

●12月17日(月)

有志にてトム2、大掃除。新年を迎える準備ができました。

●今年は、アンケート集計など親の会の活動も本格的に始まります。今後の会合の予定は以下のとおりです。

- ・2月18日(月) 10:00~トム2にて(アンケートについて)。
- ・3月1日(金) 10:00~トム2にて(アンケート・総会資料作成)。
- ・4月26日(金) 10:00~トム2にて総会開催。

また、来年度の会員継続・新規入会については、トムトムの契約更新書類と共に利用会員の皆様へ3月に郵送いたしますので、よろしくお願いたします。

みなさんで話し合いながら一歩ずつ前に進んで行きたいと思っております。ご協力をお願いいたします。(親の会寒川代表:伊藤 久美子)

入会随時受付中!

歌って踊れた！ミニコンサート！

以前から楽団員のひとりに「トムトムのために演奏してくれない？」と話をしていました。「やりたい！茅ヶ崎の楽団として、地域の人たちに聞いてもらいたい！」という彼女の言葉を頼りに少しずつ話をつめてきました。なかなかお互いのスケジュールが合わず、本当に実現するかなあ・・・と心配もありましたが、彼女や楽団の頑張りで実現できることになりました。

2001年12月9日、ついにこの日がやってきました。会場となった茅ヶ崎市青少年会館のホールには、キラキラと瞳を輝かせている会員さんの姿がありました。「準備がまだ整わないので、下のロビーでお待ち下さい。」との声も届かないほど、「何があるのかな？」とドアを開けて覗いてみると、そわそわしていましたね。演奏が始まる前から、指揮者台にのぼって指揮者になりきったり、大きなシンバルをジャーン！とたたかせてもらったり。見ていて思わず笑みがこぼれる・・・そんな光景でした。みんなで歌って踊った“おはロック”や“ドラエモン”、迫力満点だったボディパーカッション！心から拍手をおくりました。茅ヶ崎高校吹奏楽団OB会の皆様、本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。また来年、そして再来年と続けていっていただけることを、祈っています。（職員・角田）



↑ ↓ うまく演奏できましたか？指揮者さん！！



↑ おはロックでのソロ演奏のお兄さんかっこよかったね！

